



《九州統計情報》

- ・管内港湾別港湾運送事業者数等（平成23年4月1日現在）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/kouwan/kouwan23-4-1.pdf>

- ・自動車保有車両数（平成23年6月分）

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j\\_touroku/syaryousuu2306.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/syaryousuu2306.pdf)

- ・新規登録自動車数（平成23年6月分）

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j\\_touroku/shinkitouroku2306.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/shinkitouroku2306.pdf)

- ・燃料別等自動車保有台数（平成23年6月分）

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j\\_touroku/nenryoubetsu2306.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/nenryoubetsu2306.pdf)

《行政処分状況》

- ・自動車整備事業者の行政処分（平成23年7月5日付け）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/seibi/seibi.htm>

☆各種手続き

《海技試験制度・合格発表》

- ・平成23年7月定期試験合格発表（2級及び1級の筆記合格、科目合格、口述試験日程等）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

☆分野別情報

《バス・タクシー・トラック》

- ・タクシーの申請公示状況（平成23年7月分）

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji\\_bu\\_ka/taxi/k\\_230721.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/k_230721.pdf)

- ・タクシー特定地域協議会（佐賀運輸支局、宮崎運輸支局管内分）

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya\\_k/file18.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file18.html)

《海事》

- ・九州「海の駅」マップ

<http://www.umi-eki.jp/kyushu.html>

☆報道発表

- ・「ロハス九州」をPRするために韓国の歌手キム・ヨヒさんを九州にお招きします！

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0715\\_kokusai.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0715_kokusai.pdf)

- ・平成23年「海の日」海事関係功労者表彰

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0715\\_ryokaku.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0715_ryokaku.pdf)

- ・平成22年度モーターボート競走の総利用者数は増加するものの売上高は減少～売上高は、1,952億円（対前年度比9.3%減）～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0720-motor.pdf>

- ・建造量は微減ながらも竣工船価は過去最高～平成22年度九州・山口（西部）の鋼製船舶造船実績～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0720-zousen1.pdf>

・九州への中国人旅行者の回復を図るために中国（長江デルタ地域）からマスク  
ミ及び旅行会社等の関係者を招請します！

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0721\\_kokusai.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0721_kokusai.pdf)

・九州への中国人旅行者の回復を図るため、中国向け九州専門情報誌「南国風」  
（なんごくかぜ）の取材スタッフを招請します！

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0722\\_kokusai.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0722_kokusai.pdf)

・辛亥革命100周年関連事業として、中国及び香港からメディア関係者を招請  
します！

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0726\\_kokusai.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0726_kokusai.pdf)

・九州への新たな旅行商品の造成に向け台湾旅行会社を招請します！

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0727\\_kokusai.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0727_kokusai.pdf)

☆お知らせ

・事故防止対策支援推進事業（先進安全自動車（ASV）の導入に対する支援）  
の申請受付を終了

[http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha01\\_hh\\_000024.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha01_hh_000024.html)

・「不正改造車を排除する運動」及び「ディーゼルクリーン・キャンペーン」強化  
月間における街頭検査等の実施結果について

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2011-0719\\_seibi.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2011-0719_seibi.pdf)

・平成23年度「海上交通低炭素化促進事業費補助金」における第8次交付決定  
状況及び第9次公募期間等について

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001\\_022/2011-0727-k\\_kamotsu.htm](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2011-0727-k_kamotsu.htm)

・能力認定試験の合格発表について

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2011-0727-kaigisikaku.pdf>

・特殊車両通行に関する指導取締り強化（九州運輸局福岡運輸支局ほか）

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2011-0727\\_sikyokukansa.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2011-0727_sikyokukansa.pdf)

・平成22年管内船用工業の現況

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/zousen/zousen22.pdf>

○グリーン経営推進講習会を開催します！

九州運輸局では、グリーン経営の普及・推進を図るため、9月13～14日鹿児島市においてグリーン経営推進講習会を開催します。

グリーン経営とは、グリーン経営推進マニュアルに基づいて一定レベル以上の取り組みを行っている事業者に対して、認証・登録を行うもので、同マニュアルに基づく事業者の環境改善の努力を客観的に証明することにより、取組意欲を高め、社会的評価の向上を図るとともに、業界における環境負荷の低減につなげていくものです。

詳しくは、下記URLに掲載しています。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2011-0719\\_kankyuu.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2011-0719_kankyuu.pdf)



## 2 現場レポート

### ▼▼博多港テロ対策合同訓練▼▼

全国の港湾など各地でテロ防止対策訓練が実施されています。

こうした中、さる7月14日、乗客の多い国際港湾である博多港においても、博多港港湾危機管理コアメンバーによる合同テロ対策訓練が実施され、九州運輸局からも海上安全環境部長、海事保安・事故対策調整官が参加しました。

今回の訓練は、博多港におけるテロ対策の合同訓練を実施することにより、関係機関の連携強化及び事案対処能力の向上を図ることを目的として実施されたものです。

訓練は、「7月14日9時頃、博多港に着岸した「K号」の船内に複数のテロリストが潜伏しているとの通報を受けた港湾危機管理担当官が博多港港湾危機管理コアメンバーに対し速報及び緊急招集を行い、諸事の対応に着手する。」との想定のもと、①警戒区域設置訓練、②不審者制圧訓練、③入国審査訓練、④所持品検査訓練、⑤不審者制圧訓練、検挙訓練、⑥NBCテロ対応訓練及び被災者救助訓練、⑦爆発物処理訓練が実施され、本番さながらの緊張感を持って実施されました。

テロに対する水際の危機管理は、関係機関の連携強化や迅速な情報の共有化が重要であることから、こうした訓練等を通して意識の徹底や対応能力の水準の向上を図っていくことが重要であるということをあらためて認識させられました。

なお、九州運輸局では、夏期の期間中、国民生活の「安全・安心」を確保する観点から7月20日から8月31日までをテロ対策の強化・徹底期間とし、交通機関や交通関係施設、入出が予想される重要施設等におけるテロ対策を実施し、これらの安全確保に取り組んでいます。

### ■■…キーワード…■■

#### ●博多港港湾危機管理コアメンバー

博多港危機管理コアメンバーとは、外国船舶が入港する重要な港と位置づけられた博多港において、国際テロ組織の進入や密航・密輸犯罪を未然に防止し、適切に対処するため、危機管理を担当する各行政機関の連携を図ることを目的として、関係各行政機関の長により構成されています。なお、博多港では、危機管理担当官として、福岡海上保安部長が指名されています。

#### 【コアメンバー】

福岡海上保安部  
福岡県博多臨港警察署  
福岡入国管理局博多港出張所  
門司税関博多税関支署

九州地方整備局  
九州運輸局  
福岡市港湾局・市民局・消防局  
福岡県消防防災課

●NBCテロ

NBCテロとは、放射性物質（N：ニュークリア）や炭疽菌などの生物剤（B：バイオロジカル）、サリンなどの化学剤（C：ケミカル）を用いたテロのことをいいます。

※当日の訓練の様子は、次のURLからご覧になれます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_132\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_132_1.pdf)

（海上安全環境部 海事保安・事故対策調整官）

---

▼▼「平成22年度消費者行政レポート」を取りまとめました▼▼

九州運輸局では、公共交通機関の利用者からのご意見・ご要望等を一元的に受け付ける「行政相談窓口」を設けるとともに、公共交通機関の利用者や地域の人々のニーズの収集・把握に努め、関係者と連携のうえ、その改善に向けて取り組んでいます。

また、高齢者や障害者等をはじめとする「誰もが使いやすい公共交通機関」を目指して、旅客施設や車両の改善等のハード面の取り組みとともに、バリアフリー教室の開催など、心のバリアフリー意識の高揚といったソフト面の取り組みも行っています。

このレポートは、そうした九州運輸局の消費者行政に関する平成22年度の取り組みをとりまとめたものです。

※「平成22年度消費者行政レポート」は、こちらをご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/koutuu/file04/report22.pdf>

（交通環境部 消費者行政・情報課）

---

▼▼造船所の皆さん“ご安全に”！▼▼

～今年度、初めての「統括安全衛生責任者研修会」開催～

“ご安全に”！ 造船現場の挨拶により研修会がスタートしました。梅雨明けし、夏本番を迎えた、7月15日（金）09:30～ 当局と全国造船安全衛生対策推進本部（以下「全船安」という。）共催による、造船現場での安全・衛生対策の強化を図る「統括安全衛生責任者研修」を九州運輸局にて開催しました。

“船”という長さ300mを超える、製造業では最大級の製品を造り出す造船所の作業現場は、元請となる造船所の下に下請・孫請等が重なる重層構造のうえ、いくつもの職種、所属の職人さんが多数混在して作業を行う現場です。

労働安全衛生法では、こういった事業場のうち、事業場全体で常時50人以上の

労働者が働いているものについて、元請事業者は、「統括安全衛生責任者」を選任し、作業間における連絡・調整に係る統括管理を行わせるとともに、安全衛生計画の作成及び関係請負人への周知等行わなければならないものとしています。

研修会には、九州運輸局管内の大手・中小25造船所から、造船現場の製造責任者である統括安全責任者、いわゆる“造船現場の親方”34名が集合し、丸一日に及ぶ労働安全衛生に関する研修を受講しました。

ヘルメットの顎ひも跡がクッキリと残るほど真っ黒に日焼けした、見るからに屈強な親方の皆さんが、トレードマークの各造船所の作業服からクールビズ姿となり、少々緊張する中、午前中から「労働災害の現状」、「造船現場の統括安全衛生管理体制」、「労働安全衛生法の求めるところ」など盛りだくさんの講義を受講。

「全国の造船事業者が納める労災保険収納額 約68億、給付額 約136億、完全な赤字。他の製造業から補填してもらって成り立っている。大手は中小企業の事故がと言い、中小企業は下請けが、と言う。まったく理解していない」、「現場で決められたルールを守るために、現場で指導・監督するキーマンとなる職長クラスをしっかりと育てること」・・・・・・。  
造船安全一筋38年の大手造船所のベテラン講師から講義の合間に時折、檄が飛ぶ。

また、午後からは、参加者を小グループ分けし、実際の災害事例をもとにグループ討議を行い災害に対する物的、人的、管理監督上の原因と対策について意見を述べあうなど、参加者自身が現場作業での認識を再確認しました。

親方の皆さんは、時折、戸惑いの表情を浮かべながらも、講師の厳しい言葉やポイントの説明と他社の取組を聞き漏らさないよう真剣にペンを走らせていました。

17:00 親方の皆さんにとっては長い研修会の修了。同時に研修修了認定証の交付を行いました。

最後に講師から“気づいたら行動”“感じたら言葉”を大切に！とエールが送られ、全員で“ご安全に”！の挨拶で終了となりました。

※研修会の模様は、次のURLからご覧いただけます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_132\\_3.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_132_3.pdf)

(海事振興部 船舶産業課)

---

▼▼海の冒険に面舵いっぱい！▼▼

～ハウステンボスに、サウザンド・サニー号、水陸両用船がやってきた！～

---

長崎県佐世保市にあるテーマパーク「ハウステンボス」では、集客力の向上を目指し、大人気アニメ「ワンピース」に登場する「サウザンド・サニー号」を就航させました。

福岡県などでは、前売り券売上が順調で、休日分はいち早く完売するなど評判も上々、マスコミにも数多く取り上げられるなど、九州では大変な話題を呼んでいます。

そのハウステンボス(株)に対し、去る4月28日海上運送法に基づく乗船監査を実施しましたので、その概要について報告させていただきます。

本船は、全長約35メートル・総トン数365トン・旅客定員250名の船舶ですが、既存船を改造・改装工事し、旅客不定期航路事業の使用船舶として、3月29日に認可したものです。内容としては、使用船舶や係留施設など事業計画との整合性や事業者側の海上運送法における安全統括管理者を要とした安全管理の体制が十分に機能しているかなどのチェックを行いました。

特に本船はアニメの影響もあり、相当数の子供達が乗船すること等が想定されていたため、旅客の乗降施設(タラップ)の設置状況や、旅客誘導員の配置体制等を重点的に監査したところ、特に問題もなく、タラップ等も安全に乗降できる事が確認できた時は、正直ホッとしました。

監査当日は、平日にもかかわらず乗客は163名。予想外に大人が多く、熱心なファンの邪魔にならないよう、主人公ルフィー達(等身大 キャラクター人形)の横に立たないことにも注意を払うなど、気遣いの多い監査となりました。

クルーズ時間は約20分間です。比較的波が穏やかな大村湾を周回するものですが、殆どの旅客が上甲板に集中していること、また、アニメを忠実に再現した船体付属構造物が多く、船舶自体もかなり高さがあることから横風にはやや弱いのではないかといった印象を持ったので、事業者には、風速等の運航中止基準を確実に守って無理な運航をしないよう指導を行いました。

また、ハウステンボス(株)では、運航会社は異なりますが、旅客不定期航路事業の許可を受けた水陸両用船も就航することとなっていたため、これについても、同日併せて安全確認を行いました。

水陸両用船は、ハウステンボス内バスツアーの中で、専用に改造した岸壁斜路から離着水し、ハーバー内を約30分で周遊するコース設定となっています。

水陸両用船は、既に大阪や仙台などでも就航した実績がありますが、許可事業として就航するのは九州では初めてのケースであり、その安全性については未知数の部分が多かったのですが、これも乗船のうえ運航の安全性を確認することが出来ました。

今年のゴールデンウィークの入場者数も前年比約3割増と聞いており、効果も上々であったようです。

海の冒険が体験できるようになったハウステンボスを、是非皆さんも直接感じてみて下さい。

夏休みにはまた多くの旅客が乗船する事が予想されており、くれぐれも事故等の無いよう安全運航最優先で、楽しい思い出作りに貢献してもらいたいと願っております。

※この記事の内容等については、次のURLから確認できます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_132\\_2.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_132_2.pdf)

(九州運輸局 海上安全環境部 運航労務監理官)



### 3 国土交通省からのお知らせ情報



#### ☆運輸安全マネジメントセミナー（九州地区）開催のお知らせについて

国土交通省では、かねてから運輸安全マネジメント制度に関する知識の周知啓発を行う新しい形態として、運輸事業者の安全担当者を対象とした少人数制の「運輸安全マネジメントセミナー」を本省で定期的に開催しているところです。

また、平成21年度からは、本省で行っているセミナーと同じ内容のセミナーを各地区で開催しているところであり、九州地区における平成23年度のセミナーについては、下記により開催することとなりましたのでお知らせいたします。

- 開催場所：福岡合同庁舎新館 九州運輸局7階海技試験場  
JR博多駅下車 徒歩5分  
(地図 → <http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/sikyoku/file01b.htm> )
- 対象者：各運輸事業者において安全担当部署に所属する方

#### (1) ガイドラインセミナー

開催日時：平成23年9月15日(木) 13:00～17:00 (4時間)  
配布資料：セミナー資料(パワーポイント資料)  
受講定員：100名(先着順、原則として1社につき1名)  
※講義を受講するにあたり、「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン」を印刷してご持参下さい。  
(ダウンロードはこちら → <http://www.mlit.go.jp/common/000140255.pdf>)

#### (2) 内部監査セミナー

開催日時：平成23年9月16日(金) 9:00～12:00 (3時間)  
配布資料：セミナー資料(パワーポイント資料)  
受講定員：100名(先着順、原則として1社につき1名)  
※講義を受講するにあたり、「安全管理体制に係る「内部監査」の理解を深めるために」を印刷してご持参下さい。  
(ダウンロードはこちら → <http://www.mlit.go.jp/common/000110884.pdf>)

#### (3) リスク管理セミナー

開催日時：平成23年9月16日(金) 13:00～17:00 (4時間)  
配布資料：セミナー資料(パワーポイント資料)  
受講定員：100名(先着順、原則として1社につき1名)  
※講義を受講するにあたり、「事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用の進め方(自動車モード編)」を印刷してご持参下さい。  
(ダウンロードはこちら → <http://www.mlit.go.jp/common/000042613.pdf> )  
※海運事業者向けに「事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用の進め方(海運モ



ード編)」も作成していますが、セミナーには自動車モード編を持参下さい。

◎運輸安全マネジメントセミナーの開催に関する事項及び申し込み方法等の詳細については、国土交通省のホームページをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/unyuanzen/unyuanzen\\_district\\_seminar2.html](http://www.mlit.go.jp/unyuanzen/unyuanzen_district_seminar2.html)

また、九州運輸局のホームページからもご覧いただけます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001\\_022/2011-0727-soumu.htm](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2011-0727-soumu.htm)

多数の運輸事業者の方々の参加をお待ちしております。

(総務部 安全防災・危機管理調整官)



【編集部より】

編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を募集しています。お気軽にご投稿ください。

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel:092-472-2312 Fax:092-471-7192



※※※

▼九州運輸局メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから▼

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/top.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html)

※※※